

令和4年度 健康経営度調査フィードバックシート

法人名：株式会社 I H I プラント

英文名：IHI Plant Services Corporation

■加入保険者：IHIグループ健康保険組合

非上場

■所属業種：建設業

健康経営度評価結果

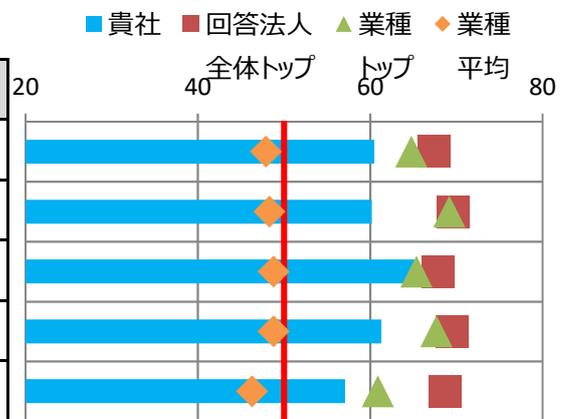
■総合順位： 451～500位 / 3169社中

■総合評価： 60.5 ↑2.0 (前回偏差値 58.5)

※「ホワイト500」に該当するかについては、回答法人全体ではなく申請法人に絞った順位で判定するため、フィードバックシートの順位から繰上がり認定される場合があります。

評価の内訳

側面	重み	貴社	回答法人全体トップ	業種トップ	業種平均
総合評価	-	60.5	67.4	64.8	47.9
経営理念・方針	3	60.2	69.6	69.2	48.3
組織体制	2	65.4	67.9	65.4	48.8
制度・施策実行	2	61.3	69.5	67.7	48.8
評価・改善	3	57.1	68.7	60.9	46.3



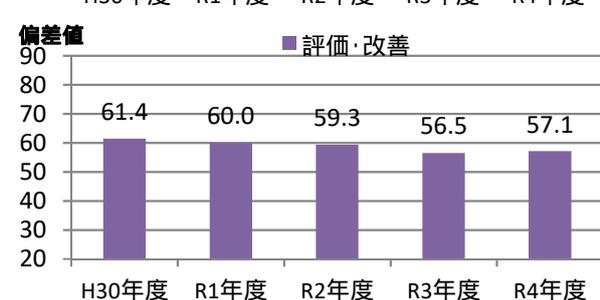
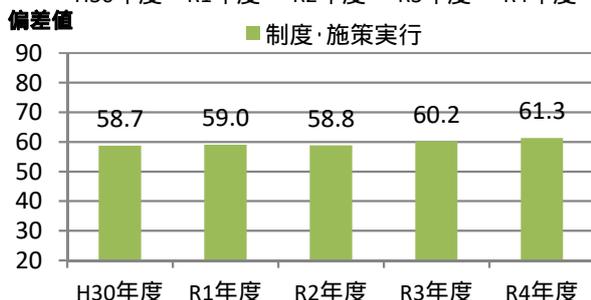
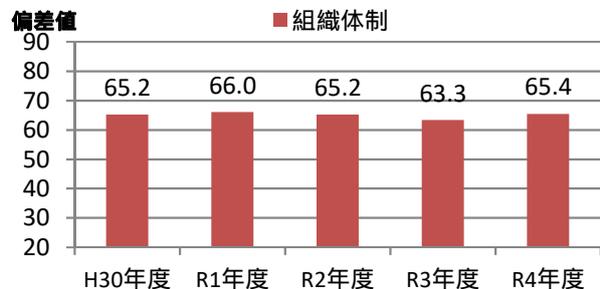
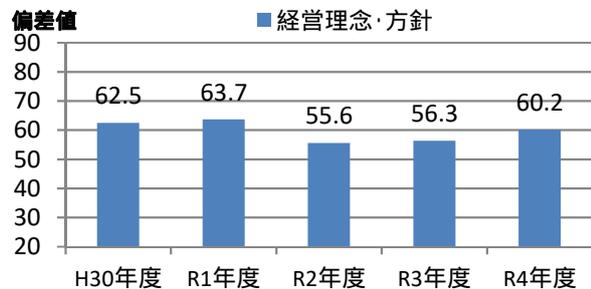
※各側面の数値は、回答法人全体の平均に基づく偏差値です。各側面の数値に重みを掛けた値を合算して、得点・順位を算出しています。

※トップの数値は項目毎の最高値です。なお、所属業種の有効回答が5社未満の場合、業種トップには「-」を表示しています。

評価の変遷（直近5回の評価結果）

	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総合順位	151～200位	151～200位	451～500位	551～600位	451～500位
総合評価	61.7	62.1(↑0.4)	59.3(↓2.8)	58.5(↓0.8)	60.5(↑2.0)
【参考】回答企業数	1800社	2328社	2523社	2869社	3169社

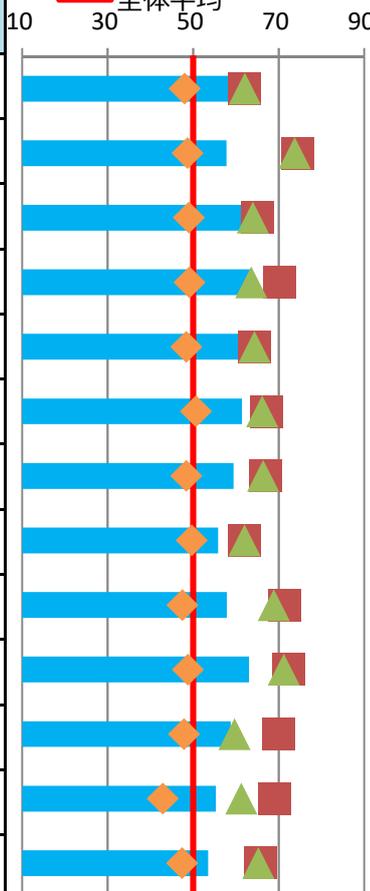
※総合評価の偏差値推移の括弧内は、前年度との比較を示しています。



評価の詳細分析

側面	項目	対応Q番号	評価（偏差値）			
			貴社	回答法人全体トップ	業種トップ	業種平均
経営理念・方針	明文化・社内浸透	Q17、Q18	62.1	62.1	62.1	48.0
	情報開示・他社への普及	Q19、Q20、Q22、Q23	57.8	74.4	73.8	48.7
組織体制	経営層の関与	Q25、Q26	63.3	65.1	64.0	49.0
	実施体制	Q27、Q28、Q29、Q31、Q32	63.6	70.3	63.6	49.2
	従業員への浸透	Q33、Q34、Q35	64.4	64.4	64.4	48.4
制度・施策実行	目標設定、健診・検診等の活用	Q36、Q37、Q38、Q39、Q40	61.4	67.3	66.2	50.7
	健康経営の実践に向けた土台づくり	Q41、Q42、Q43、Q44、Q45、Q46	59.5	67.0	66.4	48.4
	保健指導	Q47、Q48、Q49、Q50	55.9	62.0	62.0	49.7
	生活習慣の改善	Q51、Q52、Q53、Q63、Q64	57.9	71.4	68.9	47.5
	その他の施策	Q54、Q55、Q56、Q57、Q58、Q59、Q60、Q61	63.1	72.4	71.2	48.8
評価改善	健康診断・ストレスチェック	Q65、Q66、Q67、Q71	58.8	69.9	59.7	47.9
	労働時間・休職	Q68、Q69、Q70	55.3	69.2	61.3	42.9
	課題単位・施策全体の効果検証・改善	Q72、Q73	53.5	65.7	65.3	47.4

■ 貴社
■ 回答法人全体トップ
▲ 業種トップ
◆ 業種平均
— 全体平均



※各側面の数値は、回答法人全体の平均に基づく偏差値です。トップの数値は、順位が1位の法人の成績ではなく項目毎の最高値です。

健康経営の戦略

■ 経営上の課題と期待する効果

健康経営で解決したい経営上の課題	<p>従業員のパフォーマンス向上</p> <p>「人材こそが最大かつ唯一の財産である」とのIHIグループ経営理念のもと、従業員が心身ともに健康で、その個性や能力を最大限に発揮できるよう、従業員の主体的な健康づくりを積極的に支援することを「健康経営宣言」として掲げている。主体的な健康づくりを推進するにあたり、風通しの良い職場風土改革と活力生むウェルネス活動を通じて従業員のパフォーマンスを最大限に発揮させることが課題であると考えている。</p>
健康経営の実施により期待する効果	<p>1on1、コミュニケーション研修、チームビルディングなどを実施し、組織活性化に繋げ、「声の出る職場」、「声を聞く職場」が構築されることが期待できる。また、フィジカル面（睡眠・食事・運動）にフォーカスした健康づくりも支援する。指標として、ストレスチェックでの高ストレス職場ゼロ、IHIグループ独自の職場健康度調査項目の一つである「期待役割の理解」を現在の3.9から4.0以上への改善を目指している。</p>

※貴社が健康経営度調査Q18.SQ2.で回答した内容を転記しています。

■ 情報開示媒体

媒体の種類別	上記以外の文書・サイト
URL	http://www.ipc-ihl.co.jp/

※貴社が健康経営度調査Q19.SQ4.で回答した内容を転記しています。

経営レベルの会議での議題化

- 全社における健康経営の推進に関して、経営レベルの会議（取締役会や経営会議等）で議題にしている内容

番号	実施に○	議題にしている内容
1	○	健康経営の推進に関する体制
2	○	従業員の健康課題の分析結果
3	○	健康経営の具体的な取り組みと期待する効果のつながりの整理（戦略マップなど）
4	○	従業員の健康状態や生活習慣に対する健康経営の取り組みの効果
5	○	従業員の業務パフォーマンスや経営上の課題に対する健康経営の取り組みの効果
6	○	健康経営の取り組みに関する外部からの評価（各種認定取得、IRや採用面での効果など）
7	○	健康経営の取り組みに関する対外的な発信内容（投資家との対話、求人でのPRなど）
8		その他

- 2021年度の会議自体の総実施回数と健康経営の推進を議題にした回数

	①総実施回数		②健康経営を 議題にした回数	
(a)取締役会	15	回	4	回
(b)経営レベルの会議 (取締役会以外)	49	回	33	回

※貴社が健康経営度調査Q26、Q26.SQ1.で回答した内容を転記しています。

各種施策の2021年度の参加率

- 健康保持・増進に関する教育

(a)対象者の比率 ※全従業員に占める対象者の割合	62.6	%	(b)参加者の比率 ※対象者に占める参加者の割合	20.3	%
------------------------------	------	---	-----------------------------	------	---

- コミュニケーション促進

取組概要	その他				
取組内容	全部門において1on1ミーティングを実施し、コミュニケーションを促進している。				
(a)対象者の比率 ※全従業員に占める対象者の割合		%	(b)参加者の比率 ※対象者に占める参加者の割合		%

- 食生活改善

取組概要	定期的・継続的な食生活改善に向けた企画				
取組内容	カゴメ(株)のベジチェックを利用し、測定時に健康担当者が食生活のアドバイスや指導を行っている。				
(a)対象者の比率 ※全従業員に占める対象者の割合	89.8	%	(b)参加者の比率 ※対象者に占める参加者の割合	47.4	%

- 運動習慣定着

取組概要	運動奨励活動や、運動促進のためのツールの提供を実施				
取組内容	健康保険組合が提供している健康ツールを用いて会社独自の健康イベント（ウォーキングラリー）を実施。				
(a)対象者の比率 ※全従業員に占める対象者の割合	6.8	%	(b)参加者の比率 ※対象者に占める参加者の割合	87.5	%

- 女性特有の健康関連課題に関する知識を得るための取り組み（セミナー等での教育）

	実施に○	参加率		
女性限定	○	全女性従業員の	89.1	%
管理職限定		全管理職の		%
限定しない		全従業員の		%

※貴社が健康経営度調査Q42.SQ2、Q45.SQ1、Q51.SQ1、Q52.SQ1、Q54で回答した内容を転記しています。

具体的な健康課題への対応

■健康経営度調査における健康課題の分類と対応度

番号	課題分類	課題への対応度		対応する設問
		貴社	業種平均	
1	健康状態にかかわらず全従業員に対する疾病の発生予防	62.8	48.6	Q37、Q38、Q41、Q42、Q43、Q51、Q52、Q65(a)、Q65(c)
2	生活習慣病などの疾病の高リスク者に対する重症化予防	58.0	49.6	Q39、Q47、Q48、Q49、Q50、Q65(f)、Q65(g)、Q65(h)、Q66
3	メンタルヘルス不調等のストレス関連疾患の発生予防・早期発見・対応	58.7	51.0	Q40、Q57、Q67
4	従業員の生産性低下防止・事故発生予防	62.2	49.7	Q53、Q65(d)、Q65(e)
5	女性特有の健康関連課題への対応、女性の健康保持・増進	57.7	48.3	Q54、Q55
6	退職後の職場復帰、就業と治療の両立	59.3	50.1	Q46、Q70
7	労働時間の適正化、ワークライフバランス・生活時間の確保	59.9	43.0	Q44、Q56、Q68、Q69
8	従業員間のコミュニケーションの促進	57.0	47.1	Q45、Q71
9	従業員の感染症予防（インフルエンザなど）	61.7	48.4	Q60、Q61
10	従業員の喫煙率低下	50.3	45.3	Q63、Q64、Q65(b)

※各分類の数値は、それぞれの課題に対応する評価得点を全社平均に基づく偏差値に変換した値です。

※下記「重点を置いている具体的な施策とその効果」のテーマには、黄色で網掛けしています。

■重点を置いている具体的な施策とその効果

効果 検証 ①	課題のテーマ	メンタルヘルス不調等のストレス関連疾患の発生予防・早期発見・対応
	課題内容	各職場の組織力強化/組織活性化に向け、まずはコミュニケーションの活性化活動として、1on1ミーティングの実施、研修などを通じて対話活動を展開。合わせてストレスチェック、健康度調査の結果に基づき、全部門長との対話を実施した。
	施策実施結果	高ストレス職場はゼロを継続し、健康度調査結果も全体的に数値が改善してきている。平均点を少数第二位まで示すことでより明確になっている。（例：期待役割の理解3.90 3.94）
効果検証結果	部門長との対話時に、意識的にコミュニケーションをとる機会を増やした（出社の場合は対面での対話、リモートワーク時はTeamsで対話、勉強会、年代別懇談会などを実施）という部門が多数あった。対話活動が進んだ結果、健康度調査結果も改善したと考える。また、「自身の成長実感」、「強みの発揮」の数値も改善し、個人の活力向上にもつながった。	
効果 検証 ②	課題のテーマ	従業員間のコミュニケーションの促進
	課題内容	コロナ禍でリモートワーク環境下が主体になり、対面での気軽なコミュニケーションが失われ、情報の在処、聞き先、発信方法がわからないなどの課題が出てきた。
	施策実施結果	社内公募によりコミュニケーション研究会が発足され、Teamsの効率的な利用法、質問・発信できる場の構築などの活動を全社展開した。
効果検証結果	部門における対話活動にもTeamsが活かされ、健康度調査に関係性を示す項目である「尊重」、「互助」の得点が改善された。	

※貴社が健康経営度調査Q72.SQ1.で回答した内容を転記しています。

健康経営優良法人2023（大規模法人部門）認定基準適合書

貴社の認定基準適合状況

○

※「ホワイト500」に該当するかについては認定時に発表します。

評価項目	対応する設問	貴社の状況
1 健康経営の方針等の社内外への発信	Q17 & Q19 & Q19SQ1	○
2 ①トップランナーとしての健康経営の普及	Q22 or Q23	○
3 健康づくり責任者の役職	Q25	○
4 産業医・保健師の関与	Q29	○
5 健保組合等保険者との協議・連携	Q31(a) & Q32	○
6 健康経営の具体的な推進計画	Q36	○
7 ②従業員の健康診断の実施（受診率100%）	Q37(a)	○
8 ③受診勧奨に関する取り組み	Q38 or Q39	○
9 ④50人未満の事業場におけるストレスチェックの実施	Q40(a)	○
10 ⑤管理職・従業員への教育	Q41(a) or Q41(b) or (Q42 & Q42SQ2(b))	○
11 ⑥適切な働き方の実現に向けた取り組み	Q44	○
12 ⑦コミュニケーションの促進に向けた取り組み	Q45	○
13 ⑧私病等に関する復職・両立支援の取り組み	Q46	○
14 ⑨保健指導の実施および特定保健指導実施機会の提供に関する取り組み	Q47 & Q48 & Q49 & Q49SQ1	○
15 ⑩食生活の改善に向けた取り組み	Q51	○
16 ⑪運動機会の増進に向けた取り組み	Q52	○
17 ⑫女性の健康保持・増進に向けた取り組み	Q54 or Q55	○
18 ⑬長時間労働者への対応に関する取り組み	Q56	○
19 ⑭メンタルヘルス不調者への対応に関する取り組み	Q57	○
20 ⑮感染症予防に関する取り組み	Q60 or Q61(a) or Q61(b)	○
21 ⑯喫煙率低下に向けた取り組み	Q63	○
22 受動喫煙対策に関する取り組み	Q64	○
23 健康経営の実施についての効果検証	Q72	○
24 従業員等の人数が大規模法人部門の人数基準に該当	Q1(c) 、 Q3 から判断	○
25 回答範囲が法人全体	Q2	○
26 回答必須設問（設問文の左に◎が付記されているもの）への回答		○
27 全ての誓約事項を満たしている	Q4SQ1	○
28 一部回答の公表への同意	Q6	○

※項目1、3～6、22～27は必須項目、それ以外は16項目中13項目の達成が要件です。

ただし、ホワイト500については更に項目2、28も必須となり、それ以外の15項目中13項目の達成が要件です。